



いしかわ動物園にズームイン!

Zoo

文：いしかわ動物園

■アルパカの「キャンディ」がデビュー

ふれあいひろばの人気者、アルパカの「ホップ」にお嫁さん候補がやって来ました。愛称は「キャンディ」。2012年生まれの7歳で、今年2月21日にいしかわ動物園に来たのですが、検疫やアルパカ舎の改装などで公開が少し遅くなりました。

担当者によると、キャンディはマイペースな慎重派。人と言うところの“しっかり者”といった印象だそうです。ホップと比べると一回り小さいのですが、グレーがかった被毛に大きな瞳で、早くもホップの心をわしづかみにしているようですよ。

さて、アルパカ展示場に張ってあるホップの自己紹介パネルによると、好きな言葉は「自画自賛」とのこと。エサを手にしていない飼育係には目もくれず、ひたすら自分ファーストを貫くナルシストだそ

うですが、さすがに、突然現れたかわいいキャンディは無視することはできないようです。さあホップ、この先キャンディのハートを射止められるかどうかは、キ・ミ・次・第、だからね。



▲ホップ（左）とお嫁さん候補のキャンディ（右）

新型コロナウイルス感染状況を考慮し、いしかわ動物園は5月6日（水・振休）まで休園します。期間は変更する場合があります。

みんなの図書館



おすすめの一般書



できない男

ぬかがみお
額賀 潔 [著] 集英社

恋愛も仕事も冴えない地方在住デザイナーが、ひょんなことから農業テーマパークのコンペに挑戦することになり…。自分のダメさと向き合い成長する、大人のための青春小説。

おすすめの児童書



ドーナツの歩道橋

ますい 純子 [作] ポプラ社

家族のこと、好き？それともきらい？思いは毎日くるくるまわる。好きときらいは、とっても近いところにあるんだね。新しい学校と友だち、介護が必要な家族のこと。高校1年生の麦菜の心ゆれる毎日をみずみずしく描く。

おすすめの児童書



ねずみくんはめいたんてい

上野 紀子 [絵] なかえよしを [作] ポプラ社

名探偵のねずみくん。ある日、りんごが無くなったことに気づきます。足跡をつけずにりんごが取れるのは、鼻の長いぞうさん？空を飛べる鳥さん？それとも…。

新型コロナウイルス感染状況を考慮し、市立図書館は5月6日（水・振休）まで休館します。期間は変更する場合があります。

博物館建設進行中!

▶今年、秋の開館を目指して、現在、博物館を建設中です。少しずつ出来上がっていく博物館の様子は、博物館ホームページの「のぞいてみよう!博物館建設!」のページでもご覧いただけます。普段は見ることのできない、あんなところや、こんなところも、見ることができる…かも?



駐車場工事が行われました。



駐車場も完成し、六鈴鏡をイメージしたサインを設置しました。



のみバスの新ルートに、博物館が入りました!

▶新博物館の展示で使用する動画の撮影も進んでおります。能美の美しい自然や、歴史を皆様にお伝えするため、職員一同、様々な工夫を凝らして、取り組んでいます。今回は、桜満開の和田山をドローン撮影。美しい桜と古墳群、自然と歴史のコラボレーションをお楽しみに!



満開の桜が美しい和田山古墳群



いざ、Take off!!



新博物館上空も撮影しました。

今月の手話

動画配信中
手話ページQRコード

「子育て」

【子ども】

①-1、①-2 少し丸めた手のひらで、位置を変えて空間を2回押さえる（高さはお腹あたりで、子どもの頭を優しく触るイメージ）



【育てる】

②-1、②-2 親指を立たせた左手に、手のひらを上に向けた右手指先を小刻みに近づけながら上げていく



「こどもの日」

両手で数字「5」を表現し、手首を返すように縦に並べる（数字「5」が上下に並ぶことで「5月5日」を表す）



「今月の手話」を動画で確認することができます。市ホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。
○トップページ>暮らし>障害者福祉>手話動画 問い合わせ 福祉課 (☎ 58-2230 ☎ 58-2294)

3/15 新コースで開催
第44回全日本競歩能美大会

第44回全日本競歩能美大会が、コースを変更し根上総合文化会館前の県道直線折返し500mのコースで行われました。

今大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、アジア選手権、高校生・中学生の部を中止し、東京2020オリンピック代表選手選考競技会を兼ねた全日本の部20km男女(兼日本学生選手権)のみ実施しました。

男子20kmでは東洋大学の池田向希選手が1時間18分22秒、女子20kmではエディオンの藤井菜々子選手が1時間33分20秒で優勝し、両選手ともオリンピックの代表権を獲得しました。地元松岡出身の鈴木雄介選手も出場し、結果は1時間18分36秒で第3位でした。

大会終了後は翌日から根上総合文化会館を安心してご利用いただけるよう、教育委員会職員等が一斉に清掃・除菌しました。



①20km男子スタートの様子 ②20km女子スタートの様子 ③池田選手ゴールの瞬間 ④藤井選手ゴールの瞬間 ⑤会場として使用した根上総合文化会館を清掃・除菌の様子 ⑥熱い戦いを繰り広げる20km男子レースのトップ集団

4/7 大きく育つことを願って
園児が加賀丸いもの種芋を植え付け

福岡保育園の年長児(きくぐみ)24人が中庄町の畑で加賀丸いもの植え付け作業を体験しました。

体験は中庄町丸いも倶楽部によって毎年行われているもので、園児たちは会員から説明を受けながら、加賀丸いもの種芋を丁寧に植えました。丸いものに土をかぶせ終わった後は「おおきなあれ、おいしくなあれ、まあくなあれ」と能美市誕生15周年記念ロゴマークが入った手づくりのステッキを使い、おまじないをかけました。

植えた丸いものは秋に園児たちが収穫する予定です。



種芋の植え方を中庄町丸いも倶楽部の会員から教わる園児たち

祝百寿 いつまでもお元気で

3月29日に小長野町の金田美雪さんがめでたく100歳を迎えられ、井出市長からお祝い状と記念品が手渡されました。

金田さんは、おしゃれをすることが好きで、90代前半まで自分で服や小物を作っていたそうです。また、料理も好きで、テレビの料理番組を見ながらよく作っていたとご家族から教えていただきました。

井出市長が金田さんに100歳になったお気持ちを尋ねると「自分でもびっくり。ありがとうございます」と笑顔を見せていました。



井出市長と記念撮影する金田さんとご家族

のみまるごとミュージアム がんぶち
「動植物の宝庫 蟹淵」

文：歴史民俗資料館

能美市の天然記念物に指定されている蟹淵をご存じでしょうか。

蟹淵は鍋谷町の奥、標高268mの山腹にある、コバルトブルーの水面が神秘的な小さな池です。この蟹淵には梅雨の時期、多くの生き物たちが集います。

その一つが「水辺の宝石」、ルリイトンボです。本州では標高1000m以上の高所でしか見られないとされるトンボで、美しい青色をしているのが特徴です。このルリイトンボが梅雨の時期、パートナーを求めて蟹淵に集まります。オスとメスが水面近くを飛び交い、パートナーを得ると、水際の植物などにとまって、可愛らしいハート形になって交尾をします。そして交尾を終えたメスは、ヒツジグサなどの浮葉植物の茎をつたって自ら潜水し、茎に卵を産み付ける珍しい産卵方法をとります。

また、この時期、ソフトボールほどの白い泡の塊が水面に伸びる樹の枝にたくさん付いています。これはモリアオガエルというカエルが産みつけた、泡に包まれた卵の塊、卵塊です。1匹のメスに数匹のオスが抱きつき、産卵します。多い時には1日に800個以上の卵塊が確認され、「カララ、カララ」と鳴くモリアオガエルたちの声

が蟹淵を包みます。

こうした珍しいトンボやカエルに加え、未の刻(午後1時~午後3時ごろ)に花を咲かせると言われることから名が付いたヒツジグサや、イグサの仲間であるカンガレイなどの希少な植物、小さな花が愛らしいコアジサイ、樹上に小さな白いベルがずらりと並ぶように咲くエゴノキなど、様々な植物が花を咲かせます。また、アカショウビンやサンコウチョウといった珍しい鳥たちの声が聞こえてくることもあり、蟹淵はまさに「動植物の宝庫」です。

しかし、近年、外来種の魚を池に放ったり、蟹淵にはないミズバショウなどの植物を植えたりする人がおり、生態系が破壊されています。博物館友の会や、いしかわ動物園の職員の方々の協力を得て、それらは取り除きましたが、希少な植物の生息域が踏み荒らされたり、花が美しいからと乱獲されたりと、依然、蟹淵の環境は危険にさらされています。動植物の宝庫である蟹淵。この宝である生き物たちに敬意を払い、次世代へと大切に守り伝えていくのは、今を生きる我々の役目なのです。



モリアオガエルの卵塊



ハート形になるルリイトンボの交尾

人口と世帯数

2020年4月1日現在

- 人口 49,990人 (前月比-202)
男 24,854人 女 25,136人
- 世帯数 19,182世帯 (前月比-88)

ひぼ・ゆずのEcoでえこっさ

【プラのポイント】 目印はプラマーク!

- ・プラマークがついた容器や包装が対象です。軽く水洗いしてください。
 - ・洗面器などのプラスチック製品は「燃やすごみ」へ。
 - ①収集されたプラは、手作業で汚れたものやプラでないものを取り除きます。
 - ②処理施設で粉碎などの加工を行い、リサイクル原料が作られます。
 - ③リサイクル原料は、工場ですりつぶしや建築資材などに加工されています。
- 注意! 火災の危険がありますので、電子タバコなどリチウム電池を使用しているものを入れないでください。

問い合わせ 生活環境課 (☎ 58-2217 ☎ 58-2292)